

KUMAMOTO

# GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016~  
2017年度  
テーマ

国際ロータリー

「人類に奉仕するロータリー」

R.I. 会長 ジョン・F. ジャーム

地区方針

「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

R.I. 2720 地区 ガバナー 前田真実

熊本グリーンRC

「ロータリーを育て行動しよう」

熊本グリーンRC 会長 河島一夫

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河島一夫 ■幹事：葉高源 ■会報担当：長野義文  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

## 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2016年9月26日】

第1230回

2016-2017年度 第10回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「手に手つないで」 (ロータリーソング)

**来訪者紹介** (河島 一夫 会長)

卓話者

熊本電気鉄道(株)

代表取締役社長 中島敬高 氏

(熊本RC)

卓話者随行者

熊本電気鉄道 社員 葉 凌 氏

(元 米山奨学生)

**友情の握手**

**会長スピーチ** (河島 一夫 会長)

9月17日大分のホルトホールで行われました「ロータリー財団部門・米山記念奨学会部門」に私と本田会員とで出席しました。12時30分より3時まで財団の話で、3時から4時半までが米山の話でした。

財団では、地区補助金を使ってアメリカに一年間医学の勉強に行かれた小倉の富岡慎一という方の話がありました。小倉東ロータリーの地区補助金を使ってボストンロータリークラブが世話クラブとのこと、最初は、行った先の

クラブが資金援助しなければならないと思われ、どのクラブからも断られたと言うエピソードを話されました。本人も英語が達者でなかったのが説明が難しかったとのことでした。しかし、一年間、ハーバード大学公衆衛生大学院で学んだことは、これから先も有意義な人生を過ごせることだろうと話された。

この様なことでもグローバル補助金を使えることが分かった。ちなみに 2720 地区では、38クラブが野田年度では使用されてます。次に米山ですが、これは、長年に渡りお世話した米山奨学生の人達で会が発足して「米山学友会」と言う組織が出来たとのこと。母国に帰った学友も日本に残って働いている学友も一緒になって米山で母国と日本との架け橋になってくれることと思います。

最後に、前回の臨時理事会で大友会員にガバナー補佐に推薦しました。後日、承諾頂きました。皆で協力いたしますので宜しくお願いします。また、幹事の葉会員が心筋梗塞で緊急入院なさいましたが、数日前に退院され、無事に今日来られました。大変だったでしょうが、今後もお体を留意されて下さい。

**幹事報告** (栗山 義則 会員)

■ 例会変更・取止め

<変更>

【熊本東RC】

10月4日(火)の例会は、親睦例会のため、同日18:30より廣徳寺にて行います。

### 卓話予定

10/3 「熊本地震対応について」 熊本交通運輸(株) 代表取締役 住永 金司 氏 (熊本江南RC会員)

10/10 祝日(体育の日)により例会取り止め

10/17 観月例会(於:泉里)

10/24 「熊本地震後の景気動向と先行きの展望」 日本銀行熊本支店 支店長 竹内淳一郎 氏(熊本RC会員)

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

**【熊本平成RC】**

10月12日(水)の例会は、広安愛児園ふれあい秋祭りのため、10月8日(土)10:15から広安愛児園にて行います。

**【熊本水前寺公園RC】**

①10月12日(木)例会は、山都町大川阿蘇神社新能観賞のため、10月8日(土)17:00より大川阿蘇神社にて行います。

②10月26日(水)の例会は、熊本第3グループIMのため、10月28日(金)15:30よりメルパルク熊本にて行います。

**【熊本西陵RC】**

10月17日(月)の例会は、沖縄親睦旅行例会のため、同日沖縄にて開催します。

**【熊本南RC】**

10月17日(月)の例会は、観月例会の為、同日18:30よりホテル日航7F「ガーデンバケット」にて行います。

**出席報告**

(中島 三千代 会員)

	会員総数	22名	出席率
9月26日	出席免除会員数	1名	71.43%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	15名	
9月12日	前回の出席会員数	12名	57.14%
	メイクアップ数	0名	
	修正出席会員数	12名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
なし			

**委員会報告**

なし

**スマイル**

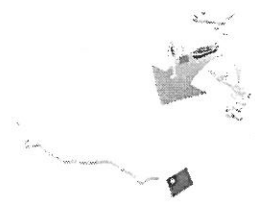
(福島 和見 会員)

●河島 一夫 君、葉 高源 君  
 「今日の卓話は、私の大学時代の県人会の寮の先輩の熊本RCの中島敬高さんです。又、中島会員の会社に勤めておられる元米山奨学生の葉さんもよろしくお願ひ致します。」

●松村 秀逸 君  
 「中島敬高様の卓話を宜しくお願ひします。久し振りの出席でお詫びにスマイル致します。」  
 ●上田 観一 君、荒木 一之 君  
 栗山 義則 君、長野 義文 君  
 「本日は熊本RCの熊本電鉄(株)中島敬高様の卓話、楽しみにしていました。宜しくお願ひ致します。」  
 ●仙波 洋八 君、十時義七郎 君  
 河野 景治 君、大友 利行 君  
 「熊本電鉄 中島社長のご来訪と卓話に感謝します。今日は椅子がめずらしく不足するほどの出席者です。中島出席担当と福島スマイル担当の顔もニコニコしています。オメデトウ!!」  
 ●福島 和見 君  
 「熊本電気鉄道(株)代表の中島様のそして米山奨学生としてご活躍された葉麦様のご来訪 心より歓迎申し上げます。卓話「台湾への道程」も楽しみにして参りました。今日は宜しくお願ひ致します。」

**3. 例会プログラム**

卓話者  
 熊本電気鉄道(株)  
 代表取締役社長 中島敬高 氏(熊本RC)  
 演 題 「台湾への道程」



## 1. 熊本電気鉄道の歴史

1909年8月15日創立(菊池軌道株式会社)

鉄道事業開始

1920年11月 自動車(乗合)事業開始

1924年4月 社名を菊池電気鉄道株に変更

1925年3月 三代社長松野鶴平社長就任

1948年1月 社名を熊本電気鉄道株に変更

1962年11月 四代社長松野頼三就任

2008年3月 私的整理成立(東京都再生支援協議会)

2009年8月 創立100周年

2010年6月 九代社長中島敬高就任

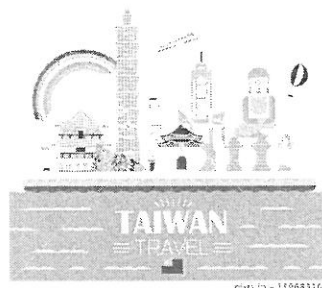
2015年3月 リファイナンス

## 2. 台湾インバウンド事業開始理由

(1) 公共交通の困難性→新規事業模索

(2) 松野父子と台湾との縁

(3) 台湾新聞(銭妙玲社長との出会い)



## 3. 台湾通い

(1) 2012年(H24年)7月 最初の訪台(宜蘭・台北)

(2) 訪問先

①キャリア ;チャイナエアライン、エバー航空、復興航空

②エージェント ;東南旅行社、五福旅行社、山富旅行社、LION TRAVEL、富康旅行社等

③行政、関連団体;外交部亜東関係協会、交流協会(台北・高雄)

台北駐経済文化代表所、台北駐福岡経済文化弁事所、台湾観光協会(東京、大阪事務所)

台湾貿易セッター福岡事務所、在日台湾商工会議所(東京、大阪)

## 4. 熊本県庁

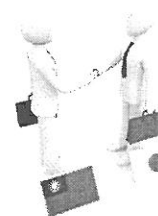
(1) 2012年(H24年)11月に陳菊市長来日し、蒲島知事を表敬訪問し、交流が始まる

(2) 台湾高雄市(人口278万人の台湾第二の都市)との経済活動を中心とした「国際交流覚書(MOU)」締結【2013年(H25年)9月9日】→熊本/高雄間チャーター便

(3) 蒲島知事トップセールス、高雄市、チャイナエアライン

(4) 「くまモン」の貢献

(5) 小林理事との連携→交通政策課、観光課



## 5. 直行使

(1) 熊本/高雄線

①定期チャーター2014年(H26年)10月26日より週3往復

「チャイナエアライン」;機材マダリン航空 103席(チャイナエアライン子会社)

②定期便 2015年(H27年)10月25日より週3往復(「チャイナエアライン」;機材B737-800 158席)

(2) 熊本/台北直行使→可能性?

(3) 熊本/香港定期便「香港航空」エアバスA320(174人乗り)週2往復

## 6. 熊本電鉄の対応

(1) 2014年度(H26年)台湾人スタッフ(アルバイト2名)雇用

(2) 2015年度(H27年)より観光事業部(貸切課、旅行センター)設立、台湾人正社員1名雇用

(3) 2016年(H28年)4月~ONESTOP体制の確立(JTBとの連携)

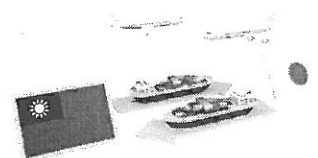
(4) 2016年(H28年)5月 台湾高雄市駐在事務所設立、現地スタッフ2名

## 7. 今後の課題

(1) アウトバウンド販売促進

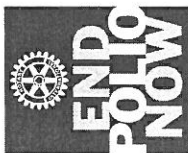
(2) 各市町村との連携(八代市、山鹿市、菊池市、大津町etc)

(3) 台北エージェントとの連携強化



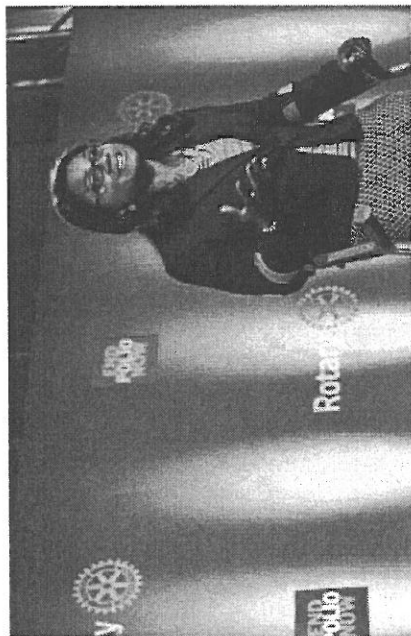
## 4. 閉会・点鐘

## ハウターの紹介



# 世界ポリオデーを

## グローバルイベントに



2014年度世界ポリオデーのイベントで体験を話すミンダ・デントラーさん。

ポリオ撲滅活動の親善大使で「どもへの予防接種の権威者であるミンダ・デントラーさんは、ポリオによるまひの恐ろしさと、そして病気を乗り越える希望を教えてください。

インドでの幼児期にポリオに感染したデントラーさんは、満足がまひし、孤児院に入れられました。米国ワシントン州スポケーンの家族に引きとられ、幾度も手術を受けて、脚のギプスと松葉づえを使って歩けるようになりました。

ニューヨークシティでの青春期に、不屈の精神を持つデントラーさんは、スポーツを探しはじめました。そして、ハンドサイクリング(手こぎ自転車)にたどりついたのです。デントラーさんは、何かに取りくむ時は全身全霊をかける人です。数年後にはトライアスロンのトレーニングをはじめ、2013年度アイアンマン世界選手権大会で完走という歴史的な偉業をなしてあげました。

昨年11月、デントラーさんはワクチン

接種を呼びかけるために、ロータリーアンととともに、11歳の時以来初めて、母国インドの地を踏みました。ポリオ撲滅に精力的に活動を続ける中、ロータリーが主催する世界ポリオデーのイベントにしばしば関わることになっていったのです。

「ポリオは世界中で多くの人の人生に影響を与えています」とデントラーさんは言います。「ポリオの流行を防ぐには、ワクチン接種を広めることが非常に大切です。この病気を撲滅できる可能性が現にあるのですから」

ぜひ、10月24日近辺で独自の世界ポリオデーイベントを企画してください。そうすれば、命を救うワクチンをすべての子どもたちに届けるために、また撲滅に至るまで必要なサーベイランスを継続するために、今後後も募金を呼びかける必要があるということを世界に向けて発信することができそうです。完全に予防可能なことのポリオという病気に、今後ひとりでも子どもが苦しむことのないように、そして、全世界でポリオが根絶する

までは、世界中のどこでもポリオの脅威は消えないということを忘れてはいけません。

募金や地域社会でのイベントを企画する手助けとして、イベント計画ガイドをご利用ください。ポリオ撲滅支援サイト (endpolio.org/ja) でイベントを登録して、ロータリーの2016年度世界ポリオデーイベントに参加し、歴史に新たな1ページを刻みましょう。



## 世界ポリオデーにできること

### 観る

- 10月24日(日本は25日の朝方)に世界ポリオデーイベントのライブ中継をポリオ撲滅支援サイト (endpolio.org/ja) で視聴し、ソーシャルメディアでフォローする。

### シェアする

- フェイスブックの投稿、インスタグラムの画像、ツイッターのツイートの見本をシェアする。

### イベントを企画する

- ハッシュタグ (#endpolio) で全世界のコミュニケーションに参加する。
- 友人やクラブ仲間と一緒に世界ポリオデーのイベントを視る。

### 書く

- 地元のメディア、議員、地域社会のリーダーにライブ中継を宣伝する。
- クラブ例会で世界ポリオデーを取りあげ、イベントに関する情報をホームページに掲載する。

### 送る

- ポリオ撲滅の重要性を伝える記事の草案を、地元新聞社に送る。
- 政府関係者に支援要請の手紙を送る。